

令和2年度 四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会 提言活動

令和2年8月25日(火)に「四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会」(発起人代表：濱田省司高知県知事)が、国土交通省の青木一彦副大臣と宇野善昌道路局次長、財務省の藤崎雄二郎主計官に「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクの早期解消や「高速道路における安全・安心基本計画」による、暫定2車線区間の4車線化などについて提言を行いました。

■国土交通省 青木一彦 副大臣への提言



●濱田高知県知事

・8の字は、経済の活性化に向けた取り組みを支援、南海トラフ地震などへの備えを高めるために不可欠な基盤。また、コロナ禍においても、8の字をはじめとした道路整備は経済回復に向けた取り組みの牽引にもつながる。

●佐伯四国経済連合会会長

・8の字のミッシングリンク部分には魅力的な観光資源が存在しており、ワーケーションの適地としても注目されている。国内観光における需要の喚起や、分散型国土の形成を促進するために、8の字の早期整備をお願いする。

▲左から、多田香川県東京事務所長、貫名徳島県県土整備部長、濱田高知県知事、青木副大臣、佐伯四国経済連合会 会長、八木愛媛県東京事務所長
青木一彦 副大臣

・道路はつながることで効果を発揮する。分散型の国土形成を進めるためにも、四国8の字ネットワークの早期整備が必要

■国土交通省 宇野善昌 道路局次長への提言



●飯泉徳島県知事代理 貫名県土整備部長

・近畿地方と九州地方をつなぐ新たな国土軸として、ドライバーの負担軽減のためトラックとフェリーを併用した四国ルートが増加。安定した輸送確保のためにも4車線化の推進をお願いする。

●中村愛媛県知事代理 八木東京事務所長

・未事業化区間「宿毛～内海」の唯一の幹線道路である国道56号では、南海トラフ地震時に津波浸水による交通途絶が想定されている。早期事業化・早期整備による命の道の確保をお願いする。

▲左から、多田香川県東京事務所長、貫名徳島県県土整備部長、濱田高知県知事、宇野次長、佐伯四国経済連合会 会長、八木愛媛県東京事務所長

宇野善昌 道路局次長

・四国8の字ネットワークの整備や国土強靱化対策の推進には、予算の確保が大変重要

■財務省 藤崎雄二郎 主計官への提言



●浜田香川県知事代理 多田東京事務所長

・高松自動車道の完全4車線化により、渋滞の解消など着実に効果が表れている。8の字が全て完成することで、更に大きな効果が期待されるため、着実な完成にご支援をお願いする。

▲左から、貫名徳島県県土整備部長、濱田高知県知事、藤崎主計官、佐伯四国経済連合会 会長、八木愛媛県東京事務所長、多田香川県東京事務所長

藤崎雄二郎 主計官

・経済の活性化を支援国民の命を守るための、四国8の字ネットワークの整備や国土強靱化対策の重要性は認識している。限られた予算の中でしっかりと取り組んでいく



四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会
(発起人：徳島県・愛媛県・香川県・高知県・四国経済連合会)